

【終了報告書】

研修先大学/ 活動先機関名	ヨーク大学	参加 プログラム名	ヨークプログラム	国名	イギリス
氏名		学籍番号		学科	英語英文学科
参加時の 学年	2年	参加費用 (日本円での概算)	874,240円		
参加日程	2025 年 6 月 30 日 ~ 2025 年 7 月 24 日 (3 週間)	記入年月日	2025 年 8 月 6 日		

① 参加前について

研修・活動に参加する目標は何でしたか。

研修に参加する目標は3つあった。1つ目は、英語の運用能力を高めることだ。間違えを恐れずに英語で話し、工夫して自分の伝えたいことを伝えられるように努力する。そして研修で発見した課題は研修後の英語学習の方法を決めるのに役立てたいと考えた。2つ目は、異文化に適応する体験をすることだ。新たに知る文化や習慣を怖がらず、初めて会う人とも距離を取りすぎずに、心を開いて積極的に知ろう、関わろうという気持ちを持つことを意識することを目標とした。渡航の準備も含めて海外に行くことを経験し、今後のステップにしたいと考えた。3つ目は、問題に自分で対処する方法を学ぶことだ。ホストファミリーとの生活や学校の授業で分からないことがあったら、自分で解決法を考えたり質問したりすることを心がけたいと思った。

② プログラムについて

研修・活動の感想

授業では主にイギリスの文化やイギリスの人々の生活について学び日本の文化との違いを考えた。具体的にはイギリスの食べ物、電車、学生の生活、お金について学んだ。授業で学んだことは生活の中ですぐに活かすことができとても役に立った。ホームステイする中で自分が見つけたイギリスの人々の習慣を日本と比較してそれに対する意見を述べる課題も出された。これを通して、習慣や価値観の違いをその文化の背景を含めて深く考えることができるようになった。学校の先生は、ホームステイ先での困り事や日常生活のことについて何でも相談に乗ってくれた。私は休日に出かけための電車のチケットを買う必要があり、先生に相談したことがあったが、丁寧にアドバイスしてくれた。授業では発言を求められる機会が多かったが、間違いをしても良いという雰囲気を感じていて、最後のプレゼンに向けての学習はとてもためになったと感じている。授業でスライドや動画の作り方、インタビューの仕方を学び、ペアで時間をかけて準備をした。慣れない生活の中でも自分で時間を作って計画的に準備をしていくという経験は、今後プレゼンをする時に活かせると思う。

研修・活動以外の部分についての感想

平日は学校が15時に終了するので、放課後に買い物に行ったりヨーク市内を観光する時間をつくり、イギリスで自分がしてみたいことを楽しむことができた。常に英語が聞こえてくるので新しい言葉を知ることができ、お店で注文する時や買い物の時も英語を使うので自由時間も英語の勉強になった。週末にはヨークを離れて少し遠くへ出かけることができ、充実した時間を過ごせた。自分で経路を調べてバスや電車に乗ることで、慣れない場所でも何とか自分で行動できるということを実感でき、自信がついた。ホストファミリーとの会話も英語も勉強になった。夕食の時にその日の出来事について話すことが多かったが、ホストファミリーは私が話すのをゆっくり待っていてくれたので、できる限りの英語力で伝えてみようという気持ちで話していた。ホストファミリーとは生活時間が異なるため夕食以外には交流する機会があまり無かった。夕食の時間にもっと自分から積極的に質問をしたり、話しかけたりすれば良かったと感じている。

現地学生との交流について教えてください。 ※交流がなかった場合は、空欄で構いません。

現地学生が大学のキャンパスツアーをしてくれた。短期の留学でヨーク大学に来ていた中国や香港の学生と交流する授業が1コマあった。グループに分かれて英語で話しながらゲームを通して交流した。また香港の学生のパネル発表を見に行く機会もあった。放課後に自由参加のアクティビティも用意されていた。

③ 参加の成果について

今回の参加を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

今回の語学研修を通して英語のスピーキング力が向上したと思う。研修前は学校の授業で英語を話す時に、間違えてしまうのを恐れて一度頭の中で文章をつくり確認してから発言をすることが多かった。しかし、語学研修中はステイ先や学校で会話する時に「できるだけ早く英語で答えなければ」という思いが強く、頭の中で文章を完成させる前に話し始めるようになっていた。話し始めてみると次の言葉が思いつき何とか文をつくることができるということを実感し、また完璧な文でなくても通じることも分かったため英語を話すことへの抵抗が少なくなった。学習面ではその他にプレゼンテーションのスキルを身につけることができた。限られた時間の中で少しずつ準備を進め、街頭インタビューも行ってプレゼンを完成できたという経験は自信にもなった。研修では精神面でも大きく成長できたと感じている。自由時間や休日の予定を自ら立てたり、ステイ先では身の回りのことを自分で行ったりすることで他の人に頼らずに自分でできることが増えた。研修中はバスの乗り方や食事等新しいことに素早く慣れる必要がある状況にいたため、初めての環境に素早く適応したり困難を自分の力で解決したりすることができるようになったと感じる。

④ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

新たな環境に身を置くことで、新たに自分の強みも弱みも発見することができることに気づいた。研修中の経験は渡航前に想像していたものとは大きく異なり、予想外の困難に直面したり、渡航前に不安ばかり感じていたことを意外とすんなりこなせてしまったりすることがあった。これは普段の生活を離れた状況の中でしか気づくことができないことだと思う。研修中は、学習面や生活面で不安なことも多くあると思いますが、何かひとつでも現地でやってみたいことを見つけて、それを達成することを目標に過ごすと良いと思います。やってみたくことがあれば、大変なことがあっても前向きになれ、現地での生活を楽しむことができるからです。もし辛いことや困ったことがあれば一人で悩まずに周りの友人や先生に相談してみることが大切です。自分の他にも同じことで困っている人がいたり、他の人と一緒に解決策を見つけることができたりすると思います。

国際センターのHPに掲載してもよい写真があれば添付してください。キャプションもつけてください。



ヨーク ウーズ川



ヨーク大学キャンパス内



ウィットビーでの食事